第 14 回　お笑いシンポジウム 「笑いは人類を救えるか」の様子

森・西田クリニック（豊橋市八町通）主催（共催日本笑い学会）の「お笑いシンポジウム―笑いは人類を救えるか」が、８日、豊橋駅前文化ホールで開催された。

同クリニックは、年2回のペースで医療に関する講演会を開いている。今回は、昨年のお笑い講演会で行った実験で、笑いで免疫力がアップすることが証明できたことを受け、笑いの健康に対する役割を多くの人に知ってもらうために開催した。

当日は、約３５０名が参加。第１部は、「あなたの笑顔がなにより薬」と題して、産婦人科医、日本笑い学会副会長の昇　幹夫さんが講演。「明るい笑顔が周りを明るくし、自分自身の健康にもつながる」などの話をユニークなエピソードを交えて語った。

第2部のシンポジウムは、「笑いは人類を救えるか」を主題に、昇幹夫さんに、金城大ユーモア学教授・森下伸也さん、豊橋落語天狗連・成田家紫蝶さんが討論。「人類は欲と笑いの戦い、人類を救うには欲を抑えて笑いをもっと広めなくては」「健康に良いからと言って無理に笑うのは笑いに失礼、自然に笑える心の余裕をもつことが大切」などのそれぞれの持論を繰り広げた。第3部では、成田家さんが古典落語「芝浜」を披露。会場からは絶えず笑い声が響いていた。